

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
事業名	84	行政バス運行経費	01	01	一般会計
基本施策	51	市内交通機関の利便性を高める	02	02	総務費
			01	01	総務管理費
			06	06	企画費
担当部課名	島ヶ原支所 総務振興課		105	105	バス等対策事業経費
作成者氏名	山本 繁昌	連絡先	59-2053	01	行政バス運行経費

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)			
	バス運行先の市民及び行政バス利用者すべて	行政バスを走らすことにより、公共交通機関の空白地域の生活交通手段の確保と高齢者等の交通弱者移動手段の確保			
本年度事業内容	公共交通機関の空白地域である山菅・不見上区に行政バスを運行				
開始年度	平成 16 年度	終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等	伊賀市行政サービス巡回車の運行及び管理に関する条例

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.2	0.2	0.2
人件費合計(A)	1,440	1,440	1,440
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	4,058	6,079	6,079
委託料	4,058	6,057	6,057
その他		22	22
合計(A+B)	5,498	7,519	7,519
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金	345		410
地方債			
受益者負担		171	1,193
その他特財			
一般財源	5,153	7,348	5,916
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
収支率	%	4	6	29			
年間利用者数	人	7583	7679	7987			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
収支率	運行経費を分母とし、行政バスの利用料を分子とする収支率を指標とする。	%	4 目標 ()	6	29
年間利用者数	年間の利用者数を指標とする	人	7583 目標 ()	7679	7987

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

行政バス開始時に比べ、少し利用者増になりつつあるが、今の料金設定では、収支率の増加は難しい。19年の目標は、料金設定を伊賀市統一の大人200円としての目標値とする。

評価	必要性	4	行政バスを走らすことにより、公共交通機関の空白地域の生活交通手段の確保と高齢者等の交通弱者移動手段の確保ができ、引き続き実施する考えである。料金設定を伊賀市全体として考えていく予定である。	総合評価 B
	有効性	3		
	達成度	3		
	効率性	2		